

白老町公告第1号

白老町において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和2年4月28日

白老町長 戸田 安彦



記

1. 会合の対象とした区域

社台地区

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

令和2年4月24日

3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

○経営体数

法人	3経営体
個人	1経営体
集落営農（任意組織）	0組織

○農地の集積面積

120.99ha（区域内の農地面積327.64ha、集積率36%）

4. 地域農業の将来のあり方

- ・農畜産物に付加価値を持たせた畜産加工品等製品化を進めるとともに、消費者ニーズと市場の動向把握などの情報収集を行い販路を確立させる。
- ・生産者やJAを中心に関係機関等が一丸となって取り組みを進め、生産力の維持・強化に努めるとともに、生産から加工・販売までを一貫して行なう農業を展開する。
- ・社台地区において野菜などの新たな農業の展開を推進する。

以上

白老町公告第2号

白老町において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和2年4月28日

白老町長 戸田 安彦



記

1. 会合の対象とした区域

白老地区

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

令和2年4月24日

3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

○経営体数

法人	8 経営体
個人	7 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

○農地の集積面積

299.65ha（区域内の農地面積 401.52ha、集積率 74%）

4. 地域農業の将来のあり方

- 生産性の向上を図るために、新しい技術や農業情報の有効活用、生産基盤の整備、効率的な生産体制の構築等により、生産力や品質を着実に高めるとともに、生産コストの低減を推進する。

以上

白老町公告第3号

白老町において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和2年4月28日

白老町長 戸田 安彦



記

1. 会合の対象とした区域

石山地区

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

令和2年4月24日

3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

○経営体数

法人	4経営体
個人	4経営体
集落営農（任意組織）	0組織

○農地の集積面積

214.68ha（区域内の農地面積310.29ha、集積率69%）

4. 地域農業の将来のあり方

- 生産性の向上を図るために、新しい技術や農業情報の有効活用、生産基盤の整備、効率的な生産体制の構築等により、生産力や品質を着実に高めるとともに生産コストの低減を推進する。
- 石山地区は企業畜産を中心とした白老牛の生産拠点となっており、中心的経営体は今後農畜産物の加工及び販売により地域の生産体制を支えていくとともに、農業体験受け入れや農家民泊によるグリーンツーリズムに取り組んでいく。
- 企業畜産を中心に、新たな最新設備の導入や農業機械の更新を図り、より高品質な粗飼料の生産や堆肥の有効活用を図り循環型農業を展開して行く。

以上

白老町公告第4号

白老町において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和2年4月28日

白老町長 戸田 安彦



記

1. 会合の対象とした区域

萩野・北吉原・竹浦・虎杖浜地区

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

令和2年4月24日

3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

○経営体数

法人	5経営体
個人	2経営体
集落営農（任意組織）	0組織

○農地の集積面積

224.33ha（区域内の農地面積260.97ha、集積率85%）

4. 地域農業の将来のあり方

- ・当該集落においては、企業畜産を中心とした農業振興の中心的な集落となりつつあるため、中心となる経営体を軸とした支援を展開して行く。
- ・畜産が中心であった竹浦地区において野菜生産が加わったことで、畜産農家から出る堆肥の有効活用を図り、地域密着型の農業を展開し、生産・加工・販売の6次産業化の推進を図りながら持続的農業を展開する。

以上